

施策確認シート個票

基本方針	基本方針1 連携・協働する場づくりと展開支援
施策名	1-1)異業種・同業種交流の促進
取組概要	①市内の協同組合などの会合において、市がオブザーバー参加することにより、交流・連携の展開に関する事業者ニーズを把握します。 ②各種団体が集まるような市内の会合などでは、出席者同士が交流できるような環境づくりに取り組みます。 ③金融機関などによる異業種・同業種交流会を市内事業者が積極的に参加・活用できるように働きかけます。 ④市が主催する既存の異業種交流会については、参加メンバーの意向に基づいて進めることを基本としながら、市内外の他の異業種団体等組織間の交流を促進し、新たなきっかけづくりに取り組みます。

取組概要1	①市内の協同組合などの会合において、市がオブザーバー参加することにより、交流・連携の展開に関する事業者ニーズを把握します。 ②各種団体が集まるような市内の会合などでは、出席者同士が交流できるような環境づくりに取り組みます。 ③金融機関などによる異業種・同業種交流会を市内事業者が積極的に参加・活用できるように働きかけます。							
取組1	交流・連携の企業ニーズの把握と環境づくり							
内容	会合などへ参加の際、企業間交流・連携へのニーズ把握を行い、環境づくりに取り組む。							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
-	-	-	-					
-	-	-	-					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	市が協同組合等の会合に積極的に参加し、交流・連携の環境づくりに取り組む。また、各種団体が集まる会合で交流会の情報提供を行う。							

取組概要2	④市が主催する既存の異業種交流会については、参加メンバーの意向に基づいて進めることを基本としながら、市内外の他の異業種団体等組織間の交流を促進し、新たなきっかけづくりに取り組みます。							
取組2	岸和田市異業種交流会の推進							
内容	岸和田市異業種交流会では、年4回の定例会で、会員企業による会社案内プレゼンを行い、同会活動について意見交換を行っている。活動内容は、会員の意向を反映したプロジェクトを分科会として不定期で開催し、「苔プロジェクト」「施設・工場見学会」等のプロジェクトを進め、交流の推進に努めている。 「苔プロジェクト」を通して、苔の利用を推奨することにより、緑視化・温暖化対策を進めるとともに、苔を使った商品の開発やマーケティング等、自社でも活用できるスキルを身に付ける。商品化にあたり、消費者の意見聴取を行うため、各種イベントへ出展している。 また、「施設・工場見学会」の実施によって、企業間交流やマッチングを図る。 【H27】 ・岸和田市異業種交流会(定例会) 5/26 10/21 1/12 3/14 (企業間課題解決マッチング、分科会報告) ・岸和田市異業種交流会(分科会) 6/11 7/9 8/3 9/2 10/2 (各プロジェクトの推進) ・北海グループ工場見学 4/22 ・産業フェア出展(異業種交流会参加企業紹介・苔テラリウム体験実施) 11/8 ・すだれ資料館等見学 11/17 【H28】 ・岸和田市異業種交流会(定例会) 6/21 8/31 12/7 3/16 (企業間課題解決マッチング、分科会報告) ・岸和田市異業種交流会(分科会) 7/1 7/27 10/1 10/11 11/4 1/16 2/7 2/27 (各プロジェクトの推進) ・産業フェア出展(苔テラリウム体験実施) 11/13 ・和歌山大学学園祭(苔テラリウム体験実施) 11/19,20 ・佐竹ガラス株式会社見学会 2/7 ・KISHIWADA X出展(苔テラリウム体験実施) 3/5 ・苔テラリウムの商品開発に向け検討している。 ・商品開発において学生の意見を参考にするため和歌山大学との連携について協議(他団体との交流)。 7/27・8/8(和サテライトと協議)、8/22(和大で産学連携センターと連携について協議) 9/29(和サテライトと協議)、10/6(和大で打合)							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	60(3,000)	120(3,000)	120(3,000)	280				
決算額	60(2,986)	120(3,000)	200(1,492)					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
異業種交流会開催回数	2回	4回	4回					
異業種交流分科会開催回数	9回	7回	7回					
異業種交流会参加企業数(4月1日現在)	16社	16社	17社					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き異業種交流会事業を推進し、取組内容の充実を図る。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 団体数、交流会数を明確にして施策をすすめ、内容を明確化すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針1 連携・協働する場づくりと展開支援
施策名	1-2)大学や支援機関との交流機会の促進
取組概要	①市内の協同組合などの会合に市が参画して、参加者のニーズを把握するとともに、支援策や支援機関を紹介します。 ②大阪府立大学や和歌山大学、大阪府立産業技術総合研究所などが主催する研究会を紹介します。

取組概要1	①市内の協同組合などの会合に市が参画して、参加者のニーズを把握するとともに、支援策や支援機関を紹介します。							
取組1	協同組合の会合に参加、支援策や支援の紹介							
内容	<p>[H27]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業団体の委員会に参加(開発についての協議)。8/7, 12/3 ・大阪府及び中小企業基盤整備機構に確認のうえ、中小企業高度化事業(開発にかかる融資制度)について、当該商業団体に情報提供を行った。 ・岸和田商工会議所常議員会に出席し岸和田市産業振興新戦略プラン[改定版]について説明。9/10 ・MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、大阪府立産業技術総合研究所、近畿能力開発大学校を訪問し、各支援機関の最新の支援策について確認した。 <p>[H28]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業団体の活性化への取組に対し、全国商店街支援センターの実施している相談アドバイザー派遣業務を紹介。当該商業団体が7/7相談アドバイザーを招聘し、活性化にむけ検討を実施した。 ・商業団体が行なう勉強会の講師を紹介した。当該商業団体が7/25にその講師を招いて商業振興についての勉強会を開催し、35名が来場(市職員も参加)。 ・商業団体の活性化への取組に対し、情報誌出版社を紹介した。当該情報誌出版社と情報発信に向けて協議。 ・岸和田市、岸和田商工会議所、池田泉州銀行の産業振興連携協定による、経営講演会・ビジネス交流会を開催 7/13 ・内容は、経営に関する勉強会と、人脈作りのための交流会 ・市内各商店街(12箇所)、泉州卸商業団地協同組合、岸和田工業センター協同組合、大阪鉄工金属団地協同組合、大阪木材コンビナート協会に、市の事業(無料経営相談会等)を紹介した。 ・岸和田シティプロモーション推進協議会の定例会に出席し、市の事業を紹介した。1/18 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
組合等会議出席回数	3回	3回	1回					
組合等訪問回数	-	3回	16回					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	協同組合等の会合に積極的に参加し、ニーズ把握に努める。							

取組概要2	②大阪府立大学や和歌山大学、大阪府立産業技術総合研究所などが主催する研究会を紹介します。							
取組2	大阪府立大学や和歌山大学、大阪府立産業技術総合研究所などの研究会の紹介							
内容	<p>[H27]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立産業技術総合研究所、近畿能力開発大学校を訪問し、支援制度や研究会についての最新情報を確認した。 <p>[H28]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立産業技術総合研究所が実施する医工連携事業について 9/1実施された「医工連携オープニングフォーラム」の後援を行った。 医療施設・丘陵地区関係企業へ情報提供。岸和田商工会議所所報に扶込を依頼。 医療健康機器開発研究会の発足について、大阪府立産業技術総合研究所と協議 8/16(参加団体 東大阪市・和泉市・岸和田市・産技研) 岸和田市異業種交流会において、苔テラリウムの商品開発に向け検討している。商品開発において学生の意見を参考にするため和歌山大学との連携について協議。7/27・8/8(和大大サテライトと協議)、8/22(和大大で協議)、9/29(和大大サテライトで協議)、10/6(和大大で打合) 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
支援機関等を訪問	2件	3件	6件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	医工連携事業及び異業種交流会と和歌山大学との連携事業について推進し、他の研究会についても情報提供できるよう努める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 数値目標を定め、それに対するレスポンスの実績報告を行うこと。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針1 連携・協働する場づくりと展開支援
施策名	1-3)プロジェクト型連携の促進
取組概要	・既存の異業種・同業種交流会がテーマを設定して取り組む、農商工連携などの事業に対して、国や大阪府のプロジェクト型連携の補助金支援メニューを紹介します。

取組1	プロジェクト型連携の促進							
内容	<p>【H26】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府に「彩誉(あやほまれ:岸和田生まれの人参)」「岸和田の竹」を地域産業資源の指定追加の申し出し、指定を受ける。 ※中小企業が府が指定した地域産業資源を活用した事業計画を策定し国の認定を得ると、新商品開発にむけた補助金等の支援対象になる。 <p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸和田市異業種交流会で池田泉州銀行のニュービジネス補助金の紹介(8社)。5/26 ※異業種交流会で補助制度を紹介し、今後、補助金等の活用も視野に入れ事業展開を図る。 ・中小企業者・小規模事業者関連施策説明会の実施(国のものづくり補助金・持続化補助金、中間支援について説明)。3/23 参加 44社 52名 ・大阪府に「だんじり彫刻」を地域産業資源の指定追加。 ※中小企業が府が指定した地域産業資源を活用した事業計画を策定し国の認定を得ると、新商品開発にむけた補助金等の支援対象になる。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外
補助金支援メニューの紹介		2件						
担当課の評価	<input checked="" type="radio"/> 計画以上に進んでいる <input type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 計画より遅れている <input type="radio"/> その他							
担当課のコメント	市内の中小企業やその団体がプロジェクト型連携の取組ができる環境づくりを進めている。							

ワーキング評価	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止/廃止 <input type="radio"/> その他
	(コメント) 地域産業資源についてはまだ他にないか検索し、補助金対象に繋げる。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針2 新たな取り組みにチャレンジする事業者の応援
施策名	2-1) 国プロジェクトへのチャレンジ支援
取組概要	・新製品開発や技術開発に向けた国の競争的資金に事業者が応募する際、その応募情報の紹介や申請書づくり、中間支援機関の紹介などに取り組みます。

取組1	申請書づくり支援(ビジネスプロモーション事業)							
内容	<p>【H27】 市が委託している相談事業で国のものづくり補助金の相談 5件、その他相談7件、電話相談3件。</p> <p>【H28】 ・ビジネスプロモーション事業を再構築し、多くの企業が新たな取組にチャレンジできる様、事業内容を見直した結果、10月より大阪府よろず支援拠点と連携し、岸和田出張相談会の実施 ・岸和田市出張無料経営相談会の事業内容を理解してもらうため、9/1 プレセミナーを実施し、経営相談をすることによるメリット等について紹介した。参加者 27名。 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、10月より月2回岸和田市役所にて、無料経営相談会を実施したところ、21件の相談があった。補助金申請書の添削の対応を含め、様々な経営相談への対応が可能。</p>							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	2,940(3,000)	2,880(3,000)	2,880(3,000)	-				中小企業診断士による企業訪問や施策等のFAX配信・電話相談(異業種交流会事業を除く) ※中小企業診断士がコーディネートを行う異業種交流会を含めたビジネスプロモーション事業として委託している。()内は総事業費。
決算額	2,926(2,986)	2,880(3,000)	1,478(1,492)					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※色塗り部分は検討期間
ものづくり補助金申請相談件数(ビジネスプロモーション事業)	9件	5件	1件	-				
無料経営相談件数	-	-	21件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他(改善して実施)							
担当課のコメント	多くの企業が相談出来るよう、事業内容を改善し実施している。							

取組2	中間支援機関の紹介							
内容	<p>【H27】 ・中小企業者・小規模事業者関連施策説明会を開催し、中間支援(よろず支援拠点・商工会議所・ビジネスプロモーション事業)の紹介を行った。3/23 参加 44社 52名 ・市が委託している相談事業(ビジネスプロモーション)の周知を図るため広報きしわだ5月号に掲載。</p> <p>【H28】 ・10月から実施する、大阪府よろず支援拠点 岸和田市出張無料経営相談会の事業内容を理解してもらうため、9/1 セミナー・プレ相談会を実施し、27名参加。当事業の周知を図るため、広報きしわだ(8月号)に掲載、商工会議所所報挟み込み、市ホームページ掲載、市内公共施設や各商店街・事業協同組合にポスター掲示。市内事業者へ通知(126件)、FAX通信(300件)ほか ・大阪府よろず支援拠点と連携し、10月より月2回岸和田市役所にて、無料経営相談会を実施。21件の相談あり。 ・12月から岸和田市企業支援メールマガジンを月1回配信し、国の小規模事業者持続化補助金の支援機関である岸和田商工会議所を紹介</p>							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	950	0					H27は地方創生先行型交付金を活用した。
決算額	-	950	0					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※色塗り部分は検討期間
中小企業・小規模事業者関連施策説明会開催回数	-	1回	1回					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	企業メールマガジン等での補助金等の周知に努める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) ・メルマガの登録件数が少なすぎる。周知方法や登録対象先を検討するなどして、件数増加に取り組む必要がある。 ・メルマガの登録件数など、具体的な目標値を定め、その達成に向けて取組みを進めていくべきである。 ・メールよりも、フェイスブックやLINEなどのSNSを活用した方が、受信者に確実に内容を確認してもらえ、見てもらったかどうかの効果が分かりやすくなるのではないかと。他市ではあえてFAXで情報発信しているところもある。開けて読んでみようというタイトルにする必要もある。利用者に情報を確実に届けるためにどのような媒体を活用することが最も適しているのか、再検討すべきである。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針2 新たな取り組みにチャレンジする事業者の応援
施策名	2-2)新商品の優先的公共事業活用の検討
取組概要	・事業者の販路開拓につなげることを目的として、公共事業において市内事業者から新商品を優先的に購入し、使用することを検討します。

取組1	新商品の優先的公共事業活用							
内容	・大阪府等他の自治体が実際に行った取組事例について検証を行い、課題等を整理したうえで、関係各課とも情報共有を行い、本市における役務の提供や物品の発注についての優先的な公共事業活用が可能かどうかも含めて施策検討を進める。 【H28】 ・契約検査課と協議し課題整理 10/21							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	関係各課と協議し、施策の構築を図る。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他							
	(コメント) ・本制度については他自治体においても導入実績が少なく、導入している自治体においても契約実績は多くない。導入したとしても大きな効果を見込みにくいと思う。それよりも、これらの予算・労力を、「販路開拓」の施策に振り向けた方が、より効果が見込めるのではないかと。							

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針3 企業立地の促進
施策名	3-1)企業立地促進法に基づく基本計画の推進
取組概要	<p>・「企業立地促進法に基づく大阪府岸和田市地域の基本計画」に基づいて、ちきりアイランド(阪南2区)及び丘陵地区への新規事業所の誘致に取り組めます。</p> <p>※ 平成27年3月の岸和田市産業振興新戦略プラン改定後に施策化した「ホテル・旅館誘致条例」に基づくホテル・旅館の誘致促進に係る取組については、企業立地促進法に基づく基本計画に位置付けられた施策ではないが、本市の総合計画等に基づく施策体系において企業立地促進施策の一環とされていることから、本委員会においては基本方針3の3-1)に位置付けて議論することとする。</p>

取組1	企業立地の促進							
内容1	<p>① 岸和田市産業集積拠点(阪南2区、丘陵地区)における支援制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分譲の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・土地・家屋の固定資産税相当額を10年間助成(課税免除の対象となる場合は課税免除の適用期間と合わせて10年間の支援) ・償却資産の固定資産税相当額を2年間助成(課税免除の適用を受ける償却資産については3年間の免除) ○ 賃貸の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・土地については、敷地面積1㎡当たり500円を5年間助成 ・家屋の固定資産税相当額に相当する額を5年間助成(課税免除の対象となる場合は課税免除の適用期間と合わせて5年間の支援) ・償却資産の固定資産税相当額を2年間助成(課税免除の適用を受ける償却資産については3年間の免除) <p>② 岸和田市産業集積促進地区(大阪鉄工金属団地地区、木材港地区、岸和田工業センター地区等)における支援制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業立地促進法の適用を受ける場合 <ul style="list-style-type: none"> ・土地・家屋・償却資産の固定資産税について3年間課税免除 ○ 企業立地促進法の適用を受けない場合 <ul style="list-style-type: none"> ・土地・家屋の固定資産税相当額の1/2を5年間助成 ・償却資産の固定資産税相当額の1/2を2年間助成 <p>【平成28年度助成金の実績】 固定資産税の助成額 84,640千円 17社(阪南2区10社、大阪鉄工金属団地地区及び大阪木材港地区7社)</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	423,298	84,636	108,196	95,303				企業立地促進事業(95,303千円) ・「岸和田市産業集積拠点における企業立地の促進に関する条例」及び「岸和田市産業集積促進地区における産業支援条例」に基づく助成金等を計上
決算額	403,605	78,050	87,648					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
新規契約者数	4件	3件	3件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き、積極的に企業誘致を進める。							

取組2	ホテル・旅館誘致の推進							
内容2	<p>「岸和田市ホテル・旅館誘致条例」(平成28年7月1日施行)に基づく支援制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象 : 100室以上のホテル及び30室以上の旅館を新設する事業者 ○ 助成の内容 : ①土地所有の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・土地・家屋の固定資産税相当額を10年間助成 ・償却資産の固定資産税相当額を2年間助成 ②借地の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・土地については年間借地料の1/2を5年間助成 ・家屋の固定資産税相当額を5年間助成 ・償却資産の固定資産税相当額を2年間助成 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
ホテル・旅館誘致件数	-	-	-					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き、積極的にホテル・旅館の誘致を進める							

ワーキングA評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) シティホテル、ビジネスホテルを含め誘致を積極的に進めてほしい。
----------	--

	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
ワーキングB評価	(コメント) 新市庁舎の上層階についてもホテル誘致等の活用ができるか検討すること。 もっとホテル等の誘致を積極的に進めて、活性化に繋げていく。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針3 企業立地の促進
施策名	3-2)企業流出防止策の推進
取組概要	・事業所の市外流出を事前に防止するため、操業環境などについて企業訪問などを通じて把握し、効果的な対策方法について検討し、実行します。

取組1	企業流出防止策の推進							
内容	平成26年度に市外流出企業が1件あったが、企業の防災対策と現存工場の統合による効率化・労働環境の改善を目的として新築移転したことがその理由である(助成している企業であり、次年度の助成を説明するための訪問時に判明した) 新たな投資を行う企業からの問い合わせにより、助成制度の説明に伺い、合わせて操業環境の聞き取りも行った。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
市外流出企業数	1件	-	-					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	木材コンビナート協会等に定期的にヒアリングを行い、ニーズを把握していくとともに、効果的な対策方法を検討し実行していく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 1件だけでなく、業種を絞り追跡調査を行い理由を把握する。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針3 企業立地の促進
施策名	3-3)新規立地企業へのアフターフォローの充実
取組概要	①新規立地した企業に対しては、通常の企業訪問とは別に、特別に訪問回数を増やし、市内での事業環境に関する「御用聞き」に取り組みます。 ②新規立地した企業への訪問活動を通じて、市内への立地要因を聞いて、次の企業誘致活動につなげます。

取組概要1	①新規立地した企業に対しては、通常の企業訪問とは別に、特別に訪問回数を増やし、市内での事業環境に関する「御用聞き」に取り組みます。 ②新規立地した企業への訪問活動を通じて、市内への立地要因を聞いて、次の企業誘致活動につなげます。							
取組1	新規立地企業へのアフターフォロー							
内容	①新規立地企業に対し、助成制度の説明のため訪問。 ②阪南2区連絡協議会にてアンケートを配布(H28) 配布14社(内回答11社)→アンケート結果【企業進出が進み、阪南2区内の従業員数は順調に増加している。公共交通機関を望む声あり。】							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	新規立地企業訪問件数
	-	1件	10件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	市域全体の新規立地企業のアフターフォローを図るため、訪問する機会を増やしていく。市域全体の新規立地企業のアフターフォローを図るため、訪問する機会を増やしていく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 引き続き頑張って進めてほしい。又今後10年継続して頂いた事業所に対し助成等検討する。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針4 創業支援
施策名	4-1) 創業に係る支援制度(相談、融資等)の強化
取組概要	・創業のための相談や融資については、引き続き商工会議所や金融機関などと連携を図り、強化していきます。

取組1	創業支援事業							
内容	<p>【H26】市・商工会議所・地域金融機関(日本政策金融公庫、池田泉州銀行、大阪信用金庫)が集まり、岸和田創業支援ネットワークの構築と創業支援事業計画を策定するため会議を重ねた(8/8, 9/10, 10/17, 11/12, 12/22, 3/9)。その結果、平成27年2月に岸和田市創業支援事業計画が国の認定を受けた。</p> <p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸和田創業支援ネットワークを開始(4/1)し、創業相談者を適切な機関への案内するため相互に協力し合う体制が整った。 ・創業支援事業計画に基づく「岸和田創業支援ネットワーク会議」の開催(4/30, 8/18, 12/16)。 ・地方創生先行型交付金を活用し、岸和田市創業支援事業補助金(店舗等改装工事費を2分の1補助、上限150万円)を開始した。 ・商工会議所が地域金融機関(池田泉州銀行・大阪信用金庫)と地域支援ネットワーク型融資を開始。 <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸和田創業支援ネットワーク会議の開催(4/20, 8/24, 12/14) ・創業セミナーに地域金融機関が参加し、金融面の支援について受講者に説明。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 H27は地方創生先行型交付金を活用した。 H28～29は市単費で事業継続。
予算額	-	20,000	20,000	20,000				
決算額	-	15,893	18,458					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
創業相談件数	-	31件	57件					
創業支援事業補助金件数	-	11件	13件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	創業支援事業補助金については一定のニーズはあるが、今後補助金額等について見直しを検討。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この補助金がどれだけ直接的に創業に結び付いているのか、疑問がある。この補助金があるからといって創業者は創業しない。創業するにあたってはたまたま補助金があっただけである。 ・効果が明確でない創業時の補助を行うよりも、融資に係る支援や、事業継続、経営改善への支援、成長のための支援に注力すべきではないか。 ・創業してからの支援をどれだけ充実させるか。創業した方が、長く事業を続けていけるようにきちんとした事業計画の作成支援が必要であり、また創業時の販路開拓支援が大事である。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針4 創業支援
施策名	4-2) 創業支援計画策定の検討
取組概要	・市独自の創業支援に係る基本的考え方や、市内で創業し、事業を継続するための総合的な方策を位置づけるための、「岸和田市創業支援計画」の策定を検討します。

取組1	創業支援事業計画策定							
内容	<p>[H26]岸和田市創業支援事業計画を作成し、国から認定を受けた(H27/2)。 [H27]貝塚市から創業セミナー開催について広報紙への相互掲載と、特定創業支援事業(創業セミナーまたは個別相談受講)証明書の発行について、連携の打診があった。岸和田市・貝塚市・泉佐野市・岸和田商工会議所・貝塚商工会議所・泉佐野商工会議所の6機関で会議を持ち、実施していくことになった。これに伴い、創業支援事業計画の変更が必要となった。 [H28]創業支援事業計画の変更について国から認定を受けた(H28/5)。 (変更点) ・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・岸和田商工会議所・貝塚商工会議所・泉佐野商工会議所の6機関で創業セミナーの実施及び特定創業支援事業で連携。 ・計画期間が平成27年度～平成29年度までだったが、岸和田市総合戦略に合わせるため、平成27年度～平成31年度までとした。</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※色塗り部分は検討期間
担当課の評価	<input checked="" type="radio"/> 計画以上に進んでいる <input type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 計画より遅れている <input type="radio"/> その他							
担当課のコメント	H26に策定済み。H28に変更認定。今後も必要があれば変更を検討する。							

ワーキング評価	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止/廃止 <input type="radio"/> その他
	(コメント) ・引き続き、創業支援施策の充実強化に向けて、必要に応じて施策内容と計画の見直しを図りたい。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針4 創業支援
施策名	4-3) チャレンジショップ支援制度の検討
取組概要	・商店街などが空き店舗をチャレンジショップとして開設する場合の改装費などを一部補助したり、市内商店街の空き店舗で出店を目指す人から事業計画を募集して審査を行い、入選した人に奨励金を交付するなどの創業者支援制度について検討します。

取組1	商店街空き店舗対策							
内容	<p>【H27】 ・商店街・不動産会社にヒヤリングを実施。 10月岸和田駅前通商店街の空店舗の調査。 空き店舗10件(内4件不動産会社の看板あり) 理事長・不動産会社(2社)にヒヤリングを行った。引き合いはあるが、家賃・職種の限定などで、踏み切れていないとの事。 引き続き、商店街活性化に資する空き店舗対策の制度設計について検討をすすめる。</p> <p>【H28】 商店街でのにぎわい創出のため、駅前通商店街でのダンス開催を検討。</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	制度実現に向け、引き続き調査・検討を進める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	<p>(コメント) 予算がついていない状況では何もできない。国からの助成金の活用を検討する。 以前に市が行なった空き店舗対策を復活してはどうか。空き店舗となっているお店でも1階が住居となっているケースが多く、貸出しが難しい部分もある。</p>

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-1)岸和田ブランドの創出・発信
取組概要	・岸和田ブランド認定事業を継続し、商品の充実を図るとともに、認定品を広く周知するため、メディアや情報誌などへの情報提供、各種イベントでの紹介など情報発信を強化します。

取組1	岸和田ブランド事業							
内容	<p>市内で生産・製造・加工された製品を岸和田ブランドとして認定し、販売を促進していくことで、市の地域経済を活性化させ、岸和田のブランド力を高めることを目的とする事業。H22年度から岸和田ブランド認定委員会(市・商工会議所等で組織)が「岸和田らしさ」を備え、優れた製品として一定の基準に適合する製品を、岸和田ブランドとして認定している。H28年現在、水ナスや桃、しらすちりめん、塩昆布、味噌、和菓子、だんじりの組コマ、パッチ、ウォーマーなど19事業者、20品目が認定されている。</p> <p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットショッピングの立ち上げ。 ・広報紙による岸和田ブランドに関するアンケート調査を実施した。その結果、岸和田ブランドの名称を聞いたことがある人は71%いたが、ロゴマークを見たことがある人は46%、さらに認定品を0~2個しか知らない人が63%に登り、認定度向上に課題が残った。 ・ブランド認定品を印刷したうちわを1,000本製作し、各種説明会、イベント、競輪場、百貨店催事等で配布した。 ・催事ではナンバーワンフェスタや御堂筋オータムパーティなどに出展し、販売とチラシの配布を行った。 ・テレビ岸和田、ニュースせんなん、南海電鉄広報誌「NATTS」へ情報提供した。 <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに3事業者の3品目を認定。 ・テレビ岸和田での市政だよりにてブランドをPR ・コープフェスタin浪切ホール、岸和田競輪GⅢ、地藏浜みなとマルシェ等に出展し、販売とチラシの配布を行った。 ・岸和田ブランド工場見学バスツアーを2回開催し、それぞれ18人、19人の参加があった。 ・テレビ岸和田、ニュースせんなん、南海電鉄広報誌「NATTS」へ情報提供した。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	2,000	2,000	2,000	2,000				岸和田ブランド認定委員会負担金
決算額	2,000	2,000	2,000					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
催事等への出展数	12回	7回	13回					
情報提供数	4回	3回	3回					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	「岸和田ブランド」のさらなる認知度向上に努めていく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) 認定委員会のメンバー構成を定期的に入れ替えてはどうか。 販路拡充を推進する為にブランドのギフト化を検討してはどうか。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-2)商店街活性化事業の推進
取組概要	・中心市街地活性化に資する取り組みや、商店街の環境整備に係る事業などについて、引き続き支援に取り組みます。

取組1	商店街等活性化事業							
内容	<p>【H26】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対する助成。 4商店街 444,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対する助成。 11商店街 666,400円 商業団体の活動支援。※商店街連合会助成ほか</p> <p>【H27】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対する助成。 4商店街 494,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対する助成。 11商店街 515,600円 商業団体の活動支援。※商店街連合会助成ほか</p> <p>【H28】 商店街等が行う商業活性化・地域交流促進事業に対する助成。 3商店街 428,000円 商店街等の環境整備施設(街路灯)の維持管理に対する助成。 12商店街 544,700円 商業団体の活動支援。※商店街連合会助成ほか</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	2,999	2,639	2,802	2,982				商業活性化・地域交流促進事業補助金 商店街環境整備施設等維持管理費助成金 商店街連合会助成 商店経営研究会助成 大規模小売店舗立地法関係
決算額	1,711	1,741	1,708					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
商店街イベント補助件数	4件	4件	4件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ <u>計画どおり</u> ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	商店街街路灯のLED化が進んでおり、維持管理費の削減に繋がっている(商店街環境整備施設等維持管理費助成)。							

取組2	岸和田TMO支援事業							
内容	中心市街地活性化を目的とし、岸和田TMOに参画し、春のみんなDay参加どんちゃかフェスタ・秋のみんなDay参加どんちゃかフェスタ・レンタサイクル事業の実施を行っている。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	500	500	500	500				
決算額	500	500	500					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
春・秋どんちゃかスタンプラリー参加者数	607人	625人	735人					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ <u>計画どおり</u> ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	中心市街地活性化の長期的なビジョンの検討が必要。							

取組3	商業共同施設整備事業							
内容	<p>商業団体等が行う共同施設の整備事業への補助。</p> <p>【H26】城見橋商店街が行うアーケード支柱補強工事の補助</p> <p>【H29】 ・泉州卸商業団地(協)が行う防犯カメラ設置工事の補助、ニューキャスルショッピングデパート(協)が行う公衆トイレ改修工事の補助(予定)</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	888	-	550	2,752				
決算額	377	-	0					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
共同施設整備団体	1件	-	-	2件				
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ <u>計画どおり</u> ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	商店街の安心・安全に寄与している。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ <u>改善して継続</u> ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 市民が通行する道路として、街路灯の負担を商店街がするのはどうなのか。もっと補助率を上げてはどうか。 防犯カメラの故障を直す費用等検討してはどうか。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-3)観光振興計画の推進
取組概要	①「岸和田市観光振興計画」の推進母体となっている「岸和田市観光振興推進会議」において策定された「岸和田市観光振興計画平成25年度提言書」に沿って、観光の振興を図ります。 ②平成28年度までの長期計画期間となっている「岸和田市観光振興計画」の見直しを行い、計画に沿って観光の振興を図ります。

取組1.	観光振興事業							
内容	観光振興協会等委託事業…お城まつり、泉州の物産展、菊花大会、もみじまつり、食の宴イベントの実施等 観光振興計画実施事業…岸和田市観光振興協会公式サイト「岸ぶら」による情報発信等 まち歩き推進事業…まつり前岸和田城下町イベント等の実施及びまち歩きマップの作成 カーネーション関連事業…カーネーションショップ「和撫子」の運営、朝ドラ舞台地ネットワークの推進							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 ・観光振興協会等委託事業 ・観光振興計画実施事業 ・まち歩き推進事業 ・カーネーション関連事業
予算額	23,370	28,370	24,300	21,100				
決算額	23,370	28,370	24,300					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
観光入込客数	2,869,138人	3,089,940人	2,990,000人 (速報値)					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	各種イベントの企画・実施、並びに積極的な情報発信に取り組み、誘客促進につなげたい。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 観光バスを利用した市内の周遊観光を創設すること。フリーwifiを拡充してインバウンドの取り込みを進めること。お城エリアの休憩場所を増設すること。岸和田城横の交流センターの無料エリアのPRを強化すること。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-4) 港湾振興事業の推進
取組概要	・市民に港への関心と理解をより一層深めてもらうため、岸和田港振興協会などと連携しながら港まつりなどを実施し、港湾の活性化につなげていきます。

取組1	港湾振興事業							
内容1	港まつり花火大会は、協賛金と市の補助金にて開催。 港湾美化啓発活動は地蔵浜町の企業や町会等約81団体が参加。 平成27年6月28日(日)に第22回港湾美化啓発活動、平成27年7月25日(土)に岸和田港まつり「花火大会」を開催。 平成28年6月26日(日)に第23回港湾美化啓発活動、平成28年7月30日(土)に岸和田港まつり「花火大会」、平成28年8月6日(土)に巡視船体験航海を開催。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	19,199	19,199	19,199	19,199				
決算額	18,733	18,733	19,199					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
港まつり花火大会入込客数	25,000人	18,000人	23,000人					
清掃の参加人数	967人	822人	782人					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	現状の事業以外にも港のにぎわい創出について検討し、事業等を実施していく。							

取組2	岸和田旧港地区周辺の魅力づくり構想の推進							
内容2	平成28年7月に「岸和田旧港地区周辺の魅力づくり構想」を策定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画期間 : 平成28年度～平成34年度 ・ 構想の基本コンセプト : 「豊富な資源をいかした“にぎわいが持続・発展する魅力ある交流拠点”を実現」 ・ 構想実現に向けた方針 : ①豊富な資源の有効活用、②新たな地域活性化の取り組みとの連携、③未活用地の有効活用、④周辺類似施設との差別化、⑤岸和田地区再開発事業の進捗、⑥岸和田市全域との連携や波及効果 の6つの方針に基づき、施策の積極的な展開を図る。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	各関係機関と連携し、構想の対象区域内において賑わい創出のための新たな事業を展開していく。							

ワーキングA評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) 構想だけに終わらず、他団体と連携し実績回数を決め提案していく。
----------	--

ワーキングB評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) 港まつり花火大会については、協賛金の取り扱いで難しい部分ではあるが、雨天中止となった場合の予備日の設定を検討すること。 港まつり花火大会会場までの歩道の整備強化が必要。
----------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-5) 農林水産振興事業の推進
取組概要	・農林水産業者及び関係団体への支援を引き続き行い、市民や企業の参画を得ながら地産地消の推進を図ります。

取組	農林水産振興事業							
内容	本市の農業を広く市民に紹介し、市民の農業に対する理解や認識を高め農業振興に資することを目的としている。マルシェは漁業組合主催の開催であり、市は後方支援であるが、岸和田の漁業を広く市民に知っていただく機会であり、臨海部の活性化につながる。							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	5,788	5,788	5,788	6,788				農業まつり負担金 2,000千円 農業研究クラブ補助金 600千円 果樹振興会補助金 200千円 農業実習委託料 500千円 林業活性化協議会委託料360千円 漁業振興対策補助金2,128千円 臨海部活性化イベント支援金 1,000千円
決算額	5,788	5,788	5,788					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
岸和田市農業まつり開催回数	1回	1回	1回					
地蔵浜みなとマルシェ開催回数	-	28回	47回					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き支援を行う。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 地蔵浜マルシェについては漁業者単独で実施している。港湾の活性化に繋げていくためにも補助金等を検討してはどうか。 ローズバスのマルシェ乗り入れの検討。 だんじりんの増台を検討し、市内で行われる各種イベントへのアクセス手段としてもっとPRしていく。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-6)地元産業の学習機会の提供
取組概要	①市内の小・中学校、高校の児童・生徒が市内の事業所を見学し、学べる機会を提供するために、市が中核となって学校と事業所を結ぶ仕組みを構築します。 ②産業観光に取り組むことによって、子どもたちだけでなく、大人に対しても地元産業への理解促進や次世代への継承につなげます。

取組概要1	①市内の小・中学校、高校の児童・生徒が市内の事業所を見学し、学べる機会を提供するために、市が中核となって学校と事業所を結ぶ仕組みを構築します。							
取組1	小・中学校、高校等への地元産業の学習機会の提供							
内容	<p>・市内小学校3年生の社会科で地元産業を学ぶ課程、中学校では仕事体験の課程がある。今後は学校教育課・小中学校と連携を図りながら地元の子どもに産業を知ってもらうための機会づくりを進めていく。</p> <p>【H27】</p> <p>・小学校に大阪府伝統工芸品の資料提供 1校。(図書室で使用のため依頼あり)</p> <p>・大学が実施する地域調査研究に泉州卸商業団地協同組合・岸和田市中央青果市場・岸和田市漁業協同組合を紹介。 2/15・2/16・2/17 地域調査研究フィールドワーク開催「食品・流通」をテーマにした調査研究をおこなった。(参加者 2/15・13人, 2/16・14人, 2/17・14人)</p> <p>【H28】</p> <p>・科学技術センターに桐筆筒についての情報提供</p> <p>・学校の現状についてヒアリング 10/21 教育委員会</p> <p>・市内のキャリア教育(職場体験)について産業政策課が窓口となり、受け入れ可能企業の情報提供ができないかを協議 2/10 教育委員会</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
関係機関に情報提供	-	2回	1回					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	学校教育課・小中学校と協議を進めて事業の充実を図る。							

取組概要2	②産業観光に取り組むことによって、子どもたちだけでなく、大人に対しても地元産業への理解促進や次世代への継承につなげます。							
取組2	市民への地元産業の理解促進							
内容	<p>【H28】</p> <p>岸和田ブランド認定事業者の市民向け工場等見学ツアーを2回実施(岸和田ブランド認定委員会)。</p> <p>・1月28日(土)だんぢり屋製菓～田中家具製作所 参加者19人</p> <p>・2月25日(土)大下工務店～井坂酒造場 参加者18人</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	2,000	2,000	2,000	2,000				
決算額	2,000	2,000	2,000					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
工場見学バスツアー参加者数	-	-	37人					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	今年度も開催予定。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) ・学校での職業体験は非常に重要である。内容の充実にも努められたい。 ・教育委員会にも今以上の協力をお願いしたい。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針5 岸和田産業の魅力発信
施策名	5-7) 岸和田市産業PR冊子の作成検討
取組概要	・岸和田市産業の魅力を広く市内外に発信し、市民に地元への愛着を高めてもらい、市外からの産業観光につながるようなPR冊子の作成を検討します。

取組1	岸和田市産業PR冊子の作成							
内容	平成20年3月に作成した冊子「岸和田力」を参考に、観光課及び農林水産課と協議しながらPR冊子の作成を検討する。							
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	冊子「岸和田力」を参考に、農林水産課及び観光課と協議しつつ、企業情報の収集を行い冊子作成を進める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) ・他の自治体でも様々な形態と内容のPR冊子を作成しており、参考になる事例は多い。工夫次第で、財政負担を抑えながら、魅力的で効果的なPRを実施することも可能と考える。やり方・費用は工夫する必要があり、予算確保の為、農協等の関係機関や農林水産課、観光課とも連携しながら、検討されたい。 ・市外に発信するとなれば、冊子でのPRには限界がある。ネットなどの活用を検討されたい。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針6 産業情報の収集・提供
施策名	6-1)企業情報の収集
取組概要	・岸ナビの市内登録企業情報(約700社)を基に、企業訪問活動などの情報を充実することによって、市内企業の情報発信や、市内外企業との連携促進、企業支援情報の提供などに活用します。

取組1	企業情報の収集・提供							
内容	<p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問記事や、市内企業のテレビ放送予定などの情報を岸ナビに掲載。 ・「岸ナビ」の見直しを図るとともに新たな情報発信の手法を検討する。 ・テレビ大阪に市内企業の情報提供し、番組内でレンズ業者が紹介される。 ・新聞社2社に岸和田市プレミアム付商品券事業を情報提供。 ・トラベルニュース、日刊工業新聞にイベント・創業支援情報提供 <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/27 JFE継手株式会社へ会社見学及び情報交換 ・7/6 株式会社Dear Laura(ディアローラ)へ会社見学及び情報交換 ・7/15 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズへ会社見学及び情報交換(岸がらにて会社見学の様子を紹介される。) ・平成28年9月末、「岸ナビ」を廃止した。 ・岸ナビの廃止に伴い、企業ニーズにあった、産業情報の新たな発信方法として、施策情報を掲載したメールマガジンの配信(月1回)を、12月から開始した。 ・製造業者からニーズの高い中小企業支援施策について、市のHPやメールマガジン等を活用し、定期的な情報提供に努めている。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
岸ナビアクセス数	74,896件	79,101件	-					
マスコミ等への企業情報提供件数	-	5件	-					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ <u>その他(改善して進めている)</u>							
担当課のコメント	効果的な情報収集・提供を進める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ <u>改善して継続</u> ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業関係ホームページの運用については、他自治体も見直しを始めており、岸ナビの廃止については一定の理解はできる。 ・利用者が必要とする情報を確実に届けるためにどのような方法により、どのような媒体を活用して実施することが最も適しているのか、SNSの活用等も含めて検討すべきである。 ・メールマガジンでは、マッチングが出来ているかどうか効果が分かりにくい。いろいろなやり方、掲載情報を見直し、ビジネスマッチングに繋げていって欲しい。他の施策とも絡んでくるので、関係団体との連携を含め検討すべきである。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針6 産業情報の収集・提供
施策名	6-2) 支援メニューの整理・提供
取組概要	・市だけでなく、国や大阪府、産業支援機関の支援メニューについて情報を収集し、事業者が利用する視点で、分かりやすい整理を行い、企業訪問活動などにおいて情報提供します。また、申請書づくりの支援に努めていきます。

取組1	支援メニューの整理・提供							
内容	<p>【H27】 「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を300部作成し、企業訪問時に配布(57社)を行うとともに、中小企業者・小規模事業者関連施策説明会で配布した(3/23実施 44社・52名参加)。また、商工会議所及び産業政策課窓口で配布した。</p> <p>【H28】 ・創業して間もない事業者を訪問する際に「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を持って訪問し情報提供した。 ・「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を活用し、新たな施策の情報収集・整理を行うとともに、情報提供に努める。 ・大阪府よろず支援拠点と連携し、10月より月2回岸和田市役所にて、無料経営相談会を実施。21件の相談あり。相談内容に応じ、補助金等の施策を紹介している。 ・産業情報の新たな発信方法として、施策情報を掲載した企業支援メールマガジンの配信(月1回)を、12月から開始した。</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	1,450	0	0				国・府・市支援制度一覧表作成委託料950千円 中小企業・小規模事業者関連施策説明会業務一部委託料500千円 H27は地方創生先行型交付金を活用。
決算額	-	1,443	0					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
中小企業者・小規模事業者 関連施策説明会開催回数	-	1回	-					※色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」を活用し、新たな施策の情報収集を行うとともに、企業支援メールマガジン等を利用した情報提供に努める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) ・「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」については、情報の定期的な更新が必要であり、その都度冊子発行では予算も高くつくので、ホームページ上のPDFファイル掲載でいいと思うので、情報の更新には力を入れて欲しい。全ての情報について更新することがコスト面で厳しいのであれば、企業、事業者の需要が高い分野(融資制度や補助制度に係る部分など)だけでも、定期的に情報を更新して、対応すべきである。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針7 経営基盤強化の支援
施策名	7-1)経営改善支援(融資、財務・知財相談等)の充実
取組概要	・商工会議所と連携し、市内中小企業に対して、融資や財務・知財などの相談窓口の紹介や、支援制度の説明を行うとともに、BCP(事業継続計画)や環境対策など企業の関心の高い領域の事業を充実します。

取組1	中小企業支援事業							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 岸和田市中小企業サポート融資(大阪府市町村連携型)をあっせんするとともに、借入者に対して利子補給と、延滞等のない返済者に対して信用保証料の補給を継続して実施している。 岸和田商工会議所と日本政策金融公庫が連携して実施する小規模企業者経営改善資金(マル経)融資実行者に対して、一部利子補給を実施している。 業況の悪化している企業(四半期ごとに指定業種の変更あり)に対してセーフティネット保証制度(5号)の認定証を発行して、資金繰り等の改善を支援している。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 府制度融資(市サポート融資)・信用保証料補給金1,000千円 府制度融資(市サポート融資)・利子補給金1,000千円 マル経融資(日本政策金融公庫)・利子補給金4,000千円
予算額	7,000	7,000	7,000	6,000				
決算額	3,010	3,264	4,714					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
中小企業サポート融資申請受付件数	20件	29件	9件					
セーフティネット保証制度(5号)の市町村認定件数	73件	102件	92件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き、融資・財務面からの中小企業の支援を実施する。							

取組2	セミナー等の案内							
内容	商工会議所等と企画・連携し、主催のセミナー等について広報活動に協力 【H28】 ・「経営講演会・ビジネス交流会」7/13開催(広報6月号掲載) ・「BCP策定ワークショップ」10/14開催(広報10月号掲載) ・「地域クラウドファンディングセミナー」12/2開催(広報11月号掲載)							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
セミナー等の広報紙掲載件数	-	-	3件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き企業の関心の高い事業について支援を実施する。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) ・融資の支援制度については、関係金融機関との連携を深め、積極的に制度の周知を図り、利用促進を図られたい。 ・市サポート融資については、本当によい制度であると思うが、金融機関の行員の中でもその認知度は低い。ニーズはあると思われるので、認知度アップを図られたい。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針8 販路開拓支援
施策名	8-1) 展示会への出展支援の充実
取組概要	①市外の展示会や常設展示場への出展に対して、引き続き助成を行います。また、市内事業所による共同での出展に対して支援します。 ②業界ごと販路開拓に有効な展示会の情報について収集し、関心の高い事業者を提供します。

取組概要1	①市外の展示会や常設展示場への出展に対して、引き続き助成を行います。また、市内事業所による共同での出展に対して支援します。 ②業界ごと販路開拓に有効な展示会の情報について収集し、関心の高い事業者を提供します。							
取組1	展示会出展補助事業							
内容	・市外の展示会又は常設展示場への出展であって、当該中小企業者等の販路開拓又はイメージアップのために行う事業(販売を伴うものを除く)に対して出展料等の補助金を支給。 ※岸和田市企業経営支援事業の展示会出展事業補助金(2分の1補助、上限20万円) ・展示会出展企業の実施結果を把握し、販路開拓における成功事例の情報収集したうえで、ノウハウの提供に努めます。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 H29予算には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む
予算額	3,000	3,000	3,000	3,000				
決算額	1,141	1,853	1,597					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
展示会出展事業補助金交付決定件数	11件	17件	14件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き支援を実施する。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他							
	(コメント) ・本支援制度の利用を一層促進するため、制度の周知について、工夫して取り組まれない。							

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針8 販路開拓支援
施策名	8-2) 海外への販路開拓支援
取組概要	・海外の現地情報や事例を学ぶ機会を企画するとともに、主に中小企業の国際ビジネスを支援している「大阪産業振興機構」と連携するなど、市内事業所における海外への販路開拓支援に取り組みます。

取組1	海外への販路開拓支援							
内容	平成28年度・平成29年度に検討する。 【H28】 10月から実施した大阪府よろず支援拠点の岸和田出張相談所において、海外への販路開拓の相談を受けるとともに、平成27年度作成した「中小企業者・小規模事業者の支援施策集」を活用し、海外への販路開拓に際し、「大阪産業振興機構」「日本貿易振興機構(JETRO)」などの支援機関への斡旋を行うこととした。なお、相談のあった21件のうち、海外への販路開拓に関する相談はなかった。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	「中小企業者・小規模事業者のための支援施策集」により案内するとともに、関係団体と協議を進める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他							
	(コメント) ・海外への販路開拓支援は非常に専門性が高く、市が直接的に関与して、効果を上がるだけの体制を整えることは難しい。市としては間接的な関与に留め、官民の専門支援機関にこの分野での支援機能を果たしてもらおう方向性で良いのではないかと。							

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針9 人材育成と雇用確保の機会提供
施策名	9-1) 合同就職説明会の開催及び開催支援
取組概要	①市内事業所の合同就職説明会を開催します。 ②市内の協同組合などによる合同就職説明会の開催に関する支援を検討します。

取組概要1	①市内事業所の合同就職説明会を開催します。							
取組1	岸和田・貝塚合同就職面接会及び岸和田合同企業説明会の開催							
内容	<p>【H28】</p> <p>・岸和田合同企業説明会の実施 8/18 浪切ホールにて初開催。岸和田市、岸和田商工会議所及び池田泉州銀行との産業振興連携協力に関する協定に基づくもの。市内及び近隣企業32社がそれぞれブースを設置し、来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象としたところ51名が参加し、企業ブースにおける説明延べ人数は155名に登った。通常の企業説明に先立ち、求職者を数名のグループにまとめてスタッフが企業ブースを順に案内し、企業が1分間で自社PRを行う「企業案内ガイドツアー」を実施した。参加者アンケートによると80%が全体を通して良かったと回答し概ね好評を得た。今後事業の検証を行い改善予定。</p> <p>・岸和田・貝塚合同就職面接会の実施 H6から毎年実施している。会場は、岸和田市と貝塚市の輪番制。H28年度は2/17浪切ホールにて、岸和田商工会議所、貝塚市、貝塚商工会議所、ハローワーク岸和田、大阪府などと連携して開催した。泉州エリアの企業39社の参加があり、124名が来場した。面接会のほか、キャリアカウンセラーによるセミナーや労働相談等の各種相談コーナーも設置し、参加者アンケートによると約60%が概ね満足と回答している。</p>							
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 地域就労支援事業負担金1,400千円（委員会分） うち岸和田・貝塚合同就職面接会開催予算300千円 うち岸和田合同企業説明会分300千円（H28新規）
予算額	1,100	1,100	1,470	1,470				
決算額	1,100	1,100	1,470					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
合同企業就職説明会参加者数	254人	175人	124人					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	両事業とも、多くの来場者が見込めるよう、魅力的な企画づくりに努めるほか、広報の充実を図る。							

取組概要2	②市内の協同組合などによる合同就職説明会の開催に関する支援を検討します。							
取組2	合同企業説明会中小企業者等参加支援事業							
内容	<p>【H28】</p> <p>岸和田市企業経営支援事業の「合同企業説明会中小企業等参加費用補助事業」の実施。1件175千円の利用があった。 ※企業等が雇用確保を目的とし、市外で開催される企業説明会に参加する際の参加費について一部助成（2分の1補助、上限20万円）を行う。</p>							
事業費推移（千円）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 合同企業説明会等参加費用補助1,600千円（H28新規） H29予算には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む
予算額	-	-	1,600	3,000				
決算額	-	-	175					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
合同企業説明会中小企業等参加費用補助件数	-	-	1件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	H28年8月から合同企業説明会中小企業者等参加支援事業を開始した。今後市内企業への広報活動を進めていく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) 参加企業に対し就活生の減少の傾向、広く告知し集めるための工夫は毎年反省し、改善して行う。
---------	---

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針9 人材育成と雇用確保の機会提供
施策名	9-3)セミナー参加促進支援
取組概要	・事業者が社内での人材育成に係るセミナーなどを企画しやすくするため、近畿職業能力開発大学校などを活用したセミナーの受講などを紹介し、受講に関する補助制度を創設します。

取組1	セミナー参加促進支援							
内容	<p>【H27】 産学官交流プラザきしわだで実施する人材育成セミナー(11月)を紹介(3組合に訪問及び電話、企業4社に案内の電話、企業約300社にFAX送信、その他会議所報や岸ナビへの掲載、産技研及び近能大から市内外の企業へ紹介)。</p> <p>【H28】 企業の人材育成のため、岸和田市企業経営支援事業の「産業人材スキルアップ事業」を創設。6件113,000円の利用があった。 ※「産業人材スキルアップ事業」は近畿職業能力開発大学校等の公的機関が実施するセミナーの受講費用及び当該機関から講師の派遣を受ける講師派遣料等について、一部助成(2分の1補助、上限10万円)を実施。</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 産業人材スキルアップ事業500千円(H28) H29予算には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む
予算額	-	-	500	3,000				
決算額	-	-	113					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
産業人材スキルアップ事業補助金件数		-	6件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	H28年8月に産業人材スキルアップ事業を創設した。今後制度の周知を実施していく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 数値目標を定めこのまま頑張してほしい。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針9 人材育成と雇用確保の機会提供
施策名	9-2)担い手育成・後継者育成支援の検討
取組概要	①新たに農業を営もうとする者が、農業経営の基礎を確立するための青年等就農計画を作成し、認定を受けた者が無利子資金の貸付けなどの支援を受けることができる「認定新規就農者制度」を活用することにより、効率的かつ安定的な農業経営の担い手の育成・確保を図ります。 ②企業訪問を通して、商工業者などの担い手育成・後継者育成に係る支援ニーズを掘り起し、それに応える施策のあり方を検討します。

取組概要1	①新たに農業を営もうとする者が、農業経営の基礎を確立するための青年等就農計画を作成し、認定を受けた者が無利子資金の貸付けなどの支援を受けることができる「認定新規就農者制度」を活用することにより、効率的かつ安定的な農業経営の担い手の育成・確保を図ります。							
取組1	青年就農支援事業							
内容	認定新規就農者制度を受けた新規就農者のうち、条件を満たした就農者に対し青年就農給付金を給付する(農林水産課)。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 農林水産課 ※29年度より制度名(国・府)が農業次世代人材投資事業に変更
予算額	21,750	19,500	19,500	21,000				
決算額	9,000	8,250	14,250					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
青年就農支援補助金件数	6件	7件	11件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き支援を行う。							

取組概要2	②企業訪問を通して、商工業者などの担い手育成・後継者育成に係る支援ニーズを掘り起し、それに応える施策のあり方を検討します。							
取組2	伝統工芸品産業産地振興事業							
内容	経済産業大臣指定の伝統的工芸品である大阪泉州桐箆筒製造協同組合へ支援を行うことにより、後継者育成・確保、需要開拓、原材料確保、技術の保存を推進し、伝統工芸品産地の健全な発展を図る。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 産業政策課
予算額	160	160	160	160				
決算額	160	160	160					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
伝統工芸品産業産地振興事業補助金件数	1件	1件	1件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き後継者育成など、大阪泉州桐箆筒協同組合の振興を図る。							

取組概要3	②企業訪問を通して、商工業者などの担い手育成・後継者育成に係る支援ニーズを掘り起し、それに応える施策のあり方を検討します。							
取組3	セミナー参加促進(9-3)の推進							
内容	【H28】 以前から近畿職業能力開発大学校等への訪問を通じて、ものづくり等に関わる人材の育成についてのニーズを把握。それを受けてH28年8月より岸和田市企業経営支援事業の「産業人材スキルアップ事業」を創設した。当該制度の周知を図るとともに、さらなるニーズの掘り起こしを行う。 ※「産業人材スキルアップ事業」は近畿職業能力開発大学校等の公的機関が実施するセミナーの受講費用及び当該機関から講師の派遣を受ける講師派遣料等について、一部助成(2分の1補助、上限10万円)を実施。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 産業人材スキルアップ事業500千円(H28) H29予算には、展示会出展事業補助金・産学官連携事業補助金・産業人材スキルアップ事業補助金・合同企業説明会等参加支援事業補助金を含む
予算額	-	-	500	3,000				
決算額	-	-	113					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
産業人材スキルアップ事業補助金件数	-	-	6件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	「産業人材スキルアップ事業」の周知を図るとともに、さらなるニーズの掘り起こしを行う。							

ワーキングA評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ <u>改善して継続</u> ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 担い手の育成と同時にその業界の市場拡大も視野に入れその商品のPRも行う。

ワーキングB評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ <u>改善して継続</u> ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 農家の高齢化に伴い作付け面積が減少している事を踏まえ、増やしていくための支援を検討する。 漁業についても、農業の新規就農のようなかたちで、国からの支援を要請する。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針10 ワンストップ支援体制の充実
施策名	10-1)ワンストップ窓口の構築の検討
取組概要	①企業立地に際して関係する部署は、産業のほか、都市計画、環境、上下水道など複数にまたがるため、庁内の関係課との調整を行います。 ②産業振興に関して、市と商工会議所連携して支援に取り組む体制の構築が重要であり、場所についても、ワンストップ窓口の可否について検討します。

取組概要1	①企業立地に際して関係する部署は、産業のほか、都市計画、環境、上下水道など複数にまたがるため、庁内の関係課との調整を行います。							
取組1	企業立地に関する関係課の調整							
内容	岸和田市内に進出を希望する企業に対して、関連する部署・窓口の担当者を集めて対応できる体制の構築を検討する。 【H28】 地蔵浜町の土地に建築物を造ることについて、関連する部署が集まり問題点を協議した。 市内への進出を計画している企業の希望を聞き取り、関係部署間での協議を行った。							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	引き続き検討する。							

取組概要2	②産業振興に関して、市と商工会議所連携して支援に取り組む体制の構築が重要であり、場所についても、ワンストップ窓口の可否について検討します。							
取組2	産業振興に関するワンストップ窓口の可否							
内容	【H28】 先進地事例を参考にし、商工会議所担当者と協議を進め、ワンストップ体制の可否についての協議							
事業費推移 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	岸和田商工会議所と協議し、方向性を確認する。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) ・引き続き、庁内外の関係部署、関係機関との連携の促進を図り、企業の利便性の向上に努めること。 ・ワンストップ化を促進することにより、意思決定の迅速化を図り、企業の負担の軽減に取り組またい。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針11 企業訪問の充実
施策名	11-1)企業訪問活動の推進
取組概要	①事業者との関係性構築とニーズ把握、ならびに適切な施策検討と対応を行うため、市職員による企業訪問活動を行い、情報収集に取り組みます。 ②訪問活動の際には、市職員単独の場合でなく、商工会議所や産業支援機関の所員などとも積極的に連携して訪問します。

取組概要1	①事業者との関係性構築とニーズ把握、ならびに適切な施策検討と対応を行うため、市職員による企業訪問活動を行い、情報収集に取り組みます。 ②訪問活動の際には、市職員単独の場合でなく、商工会議所や産業支援機関の所員などとも積極的に連携して訪問します。							
取組1	企業訪問活動の推進							
内容	【H27】 ・販売促進セミナー情報の提供(8社) ・岸和田ブランド申請業者へのヒアリング(2社)・企業視察(5社) ・異業種交流会関係(3社)・商店経営研究会の勧誘(1社) ・平成28年3月に市内企業57社を訪問し、「中小企業小規模事業者のための支援施策集」の配布と説明会の案内を行った。 【H28】 ・岸和田ブランド申請業者へのヒアリング(3社)及び申請前ヒアリング(1社) ・異業種交流会関係(2社)・企業視察(3社) ・産業人材スキルアップ事業補助金の説明(2社) ・創業支援事業補助金利用者を訪問し、経営状況の聞き取りと市施策の案内(18社)。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
企業訪問件数	-	76件	29件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	今後も機会をとらえて企業を訪問し、ニーズの把握に努めていく。また、他機関との連携した企業訪問も進めていく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) ・企業訪問により収集した情報をどのように施策に反映させるかという観点から、企業訪問の内容の充実を図られたい。 ・成果指標に関しては、訪問件数ではなく、企業訪問がどのように施策に結び付いたかということを目指してはどうか。 ・市役所職員には専門性がなく、企業からニーズを聞き出したり経営相談することは難しいので、商工会議所等の関係機関との機能分担について検討し、効率的な事務執行に努められたい。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針11 企業訪問の充実
施策名	11-2) マッチングの推進
取組概要	・企業訪問活動を通じて得られた事業者のシーズやニーズを基に、大阪府立産業技術総合研究所などの支援機関や大学、企業を紹介し、マッチングに取り組みます。

取組1	マッチングの推進							
内容	<p>【H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業から新商品である子ども用洗剤の販路開拓の相談があり、市の健康イベントと保健センターでサンプル品の配布が可能かどうかの相談を担当部署に持ちかけたうえで当該企業を紹介した。 ・コンテナ業者より、自社が抱える課題について相談があり、岸和田市異業種交流会参加事業者と共に当該企業の作業現場を確認、協議を行い、対応策を提案した(5/12)。 ・商店街の鳥害について相談があり、解決策について堺市及び大阪府立産業技術総合研究所に相談。 ・市が創業支援を行った飲食店より、インバウンドの取り込みについて相談があり、ドイツ人観光ガイドを紹介。 <p>【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業団体に観光業者・飲食業者を紹介。 ・市が創業支援を行った事業者に市民活動団体を紹介。 ・大阪府立産業技術総合研究所・大阪商工会議所が進めている医工連携に参画するとともに、9/1開催のオープニングフォーラムについて市内企業・市内医療機関に情報提供。 ・岸和田市異業種交流会の取り組みについて、和歌山大学と連携について協議(1-1)。 7/27・8/8(和大大サテライトと協議)、8/22(和大大産学連携センターと連携について協議) ・大阪観光大学講師に岸和田ブランド認定品の製造事業者を紹介。 ・地蔵浜みなとマルシェの情報を出版社に提供し、南海電気鉄道情報誌「NATTS」3月号に掲載された。 							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-					
決算額	-	-						
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
他機関等への紹介件数	-	4件	6件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	今後もマッチングに取り組んでいく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市として実施するよりも、他の支援機関において実施する方がより効果的に支援を実施しうる場合は、市としての関与を薄めるなど、商工会議所や地域金融機関、その他の支援機関との適切な機能分担を図り、地域における産業支援のあり方について整理されたい。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針12 支援機関の連携強化
施策名	12-1)市と個別支援機関との連携強化
取組概要	①日頃から個別の支援機関との情報交換ができるように、担当者間の交流を図ります。 ②岸和田市・岸和田商工会議所・大阪府立産業技術総合研究所・近畿職業能力開発大学の4者による「産学官交流プラザきしわだ」や岸和田市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の3者による「産業振興連携協力に関する協定」を活かして、連携強化のための事業を推進します。

取組概要1	①日頃から個別の支援機関との情報交換ができるように、担当者間の交流を図ります。							
取組1	市と個別機関の連携強化							
内容	【H27】 ・MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、大阪府立産業技術総合研究所、近畿能力開発大学校を訪問し、担当者間の交流を図るとともに、各支援機関の最新の支援策について確認した。 【H28】 ・大阪府ものづくり支援課を訪問し、大阪府ものづくり優良企業賞と岸和田ブランドの連携について担当者と意見交換を行った。 ・無料経営相談会を実施するため、大阪府よろず支援拠点(財団法人大阪産業振興機構)と調整を行った。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	様々な機会をとらえて個別機関との連携を強化していく。							

取組概要2	②岸和田市・岸和田商工会議所・大阪府立産業技術総合研究所・近畿職業能力開発大学の4者による「産学官交流プラザきしわだ」や岸和田市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の3者による「産業振興連携協力に関する協定」を活かして、連携強化のための事業を推進します。							
取組2	「産学官交流プラザきしわだ」岸和田市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の3者による「産業振興連携協力に関する協定」の活用							
内容	【H27】 ・産学官交流プラザきしわだで人材育成セミナーを開催し、近畿職業能力開発大学校・大阪府立産業技術総合研究所それぞれの支援策を紹介(11/10)。 【H28】 ・産学官交流プラザきしわだで人材育成セミナーを開催を計画したが参加者が少なく断念した。 ・岸和田市、岸和田商工会議所及び池田泉州銀行との産業振興連携協力に関する協定による岸和田合同企業説明会の実施(8/18 市内及び近隣企業32社がそれぞれブースを設置し、来春大学等卒業予定者及び概ね34歳以下の若年求職者を対象としたところ51名が参加し、企業ブースにおける説明延べ人数は155名に登った。)及び経営講演会・ビジネス交流会(7/13 講演会参加者51名、交流会参加者47名)の開催を行った。							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等 ※産学官交流プラザきしわだ負担金
予算額	300	300	200	200				
決算額	91	37	21					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
産学官交流プラザセミナー参加者数	18人	34人	-					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	「産学官交流プラザきしわだ」だけでなく、様々な機会をとらえて個別機関との連携を強化していく。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他 (コメント) 例年成果が見受けられない産学官については一度リセットする。合同企業説明会は毎年前年の反省を踏まえ内容検討する。又就活来場者を増やすためのツール・キャリアセンターとの連携強化をはかる。
---------	--

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--

基本方針	基本方針12 支援機関の連携強化
施策名	12-2) 支援機関による情報共有の場の設置検討
取組概要	・市や商工会議所はもちろん、市内に立地する近畿職業能力開発大学校や和歌山大学岸和田サテライト、隣接する和泉市にある大阪府立産業技術総合研究所などの支援機関、日本政策金融公庫や池田泉州銀行などの金融機関、大阪府や国などの支援側が情報共有、情報交換できる場の設置を検討します。

取組1	支援機関による情報共有							
内容	<p>【H26】 ・大阪府が進める「EGおおさか推進ネットワーク」の「地域経済コンサルジュ養成講座」(地域企業の発掘と育成の担い手を養成する研修)に参加し、他自治体、金融機関、民間企業関係者との交流を図り、情報交換を行った。 8/29, 9/17, 10/8, 10/29, 11/12, 12/1, 12/8, 12/18</p> <p>【H27】 ・MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、大阪府立産業技術総合研究所、近畿職業能力開発大学校をそれぞれ訪問し、担当者間の交流を図るとともに、各支援機関の最新の支援策について確認した。 ・「産学官交流プラザきしわだ」打合せ会議の開催。6/26 商工会議所・近畿職業能力開発大学校・大阪府立産業技術総合研究所で人材育成セミナー実施(12-1)の打合せ。 ・自治体地方創生ネットワークキックオフセミナーに参加。12/21 近畿経済産業局が取組んでいる「関西自治体地方創生ネットワーク」に参画。地方創生の先行事例の発表。交流会にて他自治体、金融機関等と交流し情報交換を行った。 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、商工会議所)を開催し情報共有。4/30,8/18,12/16</p> <p>【H28】 ・「関西☆しごと創生交流フォーラム」に参加。6/20 しごと創生・産業振興の特徴的な取組事例の発表。近畿経済産業局が取組んでいる「頑張る自治体応援隊」の大阪南部担当 山口氏と顔合わせ。 ・3者連携協定による協議(池田泉州銀行、商工会議所) 1/26 ・大阪府が主催する創業支援機関ネットワーク会議に出席し情報共有した。5/27,9/29,2/22 ・岸和田創業支援ネットワーク会議(池田泉州銀行、日本政策金融公庫、大阪信用金庫、商工会議所)を開催し情報共有。4/20,8/24,12/14</p>							
事業費推移(千円)	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	予算内容等
予算額	-	-	-	-				
決算額	-	-	-					
関連指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	※斜線部分は対象期間外、色塗り部分は検討期間
支援機関情報共有・情報交換件数		5件	5件					
創業支援ネットワーク会議件数		3件	3件					
担当課の評価	計画以上に進んでいる ・ 計画どおり ・ 計画より遅れている ・ その他							
担当課のコメント	大阪府や国などの支援側が情報共有・情報交換できる場への積極的な参加を進める。							

ワーキング評価	拡充 ・ 現状のまま継続 ・ 改善して継続 ・ 縮小 ・ 休止/廃止 ・ その他
	(コメント) 何のために情報共有するのか明確にし、成果を決めておこなう。

岸和田市産業活性化推進委員会コメント	
--------------------	--